檜皮奉賛

彌刀神社

弥刀神社・摂社八坂神社（御祭神は須佐之男命）の本殿建造物には、日本古来の歴史的な手法である『檜皮葺』が用いられています。
（神社建築として東大阪市内に現存は枚岡神社など数例のみ）
檜皮葺は『*ユネスコ無形文化遺産*』にも登録されている日本古来の建築技術です。耐久性があり腐敗にも強い檜の樹皮を用いて風雨に耐える屋根を作っています。
この工法は文化財建造物を後世に伝えるために欠かせないものです。
近年の本殿檜皮葺の損傷、メンテナンス（３０～４０年）時期等を考えて、この度修理工事を実施する運びとなりました。
先人が守ってきた伝統のある本殿を後世に伝えるため、当奉賛事業にご協力をよろしくお願いいたします。



明治初期の境内



御奉納いただいた檜皮は東大阪市文化財の八坂神社本殿修理の際に、材料の一部として利用させていただきます。



一口二千円から受付しております。
檜皮には氏名・住所・祈願をお書きください。
※檜皮一枚につき、お一人のご氏名を記入していただけます。

受付は神社社務所前に設置します

弥刀神社　摂社八坂神社修理委員会
東大阪市近江堂一丁目１２－１５
（弥刀神社社務所内）